

# 石薬だより



2024年2月号

## 索引

- ・石薬のうごき・・・・・・・・・・ (2)
- ・部会から・・・・・・・・・・ (3)
- ・令和5年度石巻赤十字病院大規模災害訓練  
見学に参加して・・・・・・・・ (5)
- ・行雲流水・・・・・・・・ (10)

一般社団法人 石巻薬剤師会

石巻市大街道西2丁目 1-23

石巻薬剤師会ホームページ

<http://www.ishi-yaku.com>

(会員向けページ) ユーザーネーム : ishiyakueturan

パスワード : ishiyaku0225932511

## 今月の予定

- 2月21日(水) 石巻市医師会学術講演会  
会場：石巻グランドホテルおよびWeb 聴講 18:50~20:35
- 2月29日(木) 石巻薬剤師会学術研修会  
会場：マルホンまきあーとテラス 19:00~20:30

※研修会の詳細は 部会からをご確認ください

## 🍯石巻市夜間急患センター勤務者募集🍯



平日 (夜間) 19:00~22:00

土、日、祝日、お盆 (夜間) 18:00~23:00

年末年始 (夜間) 18:00~23:00

小児科休日当番 (日中) 9:00~17:00

お問い合わせ先 (一社) 石巻薬剤師会事務局 TEL:0225-93-2511

# 石薬のうごき

令和5年12月26日 ~ 令和6年1月25日分

年	月	日	行事	場所	備考	担当部会
6	1	8	令和5年度第3回地区・職域薬剤師会協議会	江陽グランドホテル	会長	
	1	8	宮城県薬剤師会新年祝賀会	江陽グランドホテル	会長、二宮	総務
	1	10	石巻市医師会新年会	石巻グランドホテル	会長、日山	総務
	1	11	令和5年度石巻市民食育健康フェスティバル第5回実行委員会	石巻市健康相談センター	樽林	地域医療
	1	11	薬物乱用防止教室	東松島市立宮野森小学校	講師:土佐	学校保健
	1	12	石巻市地域リハビリテーション活動支援事業 個別事例ケア会議	おしか観光モデルハウス	小笠原	地域医療
	1	12	正副会長会・各部部长会(第5回)	石巻薬剤師会事務所		総務
	1	18	石巻薬剤師会 学校保健部会(第3回)	石巻薬剤師会事務所	会長、日山、熊谷、遠藤、樽林、沼倉、溝口、鈴木、阿部	学校保健
	1	19	仙台市薬剤師会新年祝賀会	ホテルメトロポリタン仙台	会長	総務
	1	20	令和5年度第4回石巻市国民健康保険事業の運営に関する協議会	石巻市役所	会長	
	1	20	令和5年度 原子力防災訓練		薬剤師会関与部分中止	総務
	1	22	石巻市地域リハビリテーション活動支援事業 個別事例ケア会議	石巻市中央公民館	樽林	地域医療
	1	24	薬物乱用防止教室	石巻市立須江小学校	講師:田村	学校保健

# 部会から

## 学校保健部

学校保健部担当理事 熊谷 大輔

### 1. 薬物乱用防止教室見学について

薬物乱用防止教室の開催日程になります。

※教室を見学する場合は、開催日の一週間前までに講師又は保健所に連絡の上事前に学校の了解をとってからの参加をお願いします。

学校名	学年	開催(予定)日	開始時間	終了時間	講師
東松島市立宮野森小学校	6年生	令和6年1月11日	午後1時30分	午後2時15分	土佐貴弘
石巻市立須江小学校	6年生	令和6年1月24日	午後1時40分	午後2時25分	田村幸男
石巻市立稲井小学校	6年生	令和6年1月26日	午前10時40分	午前11時25分	日山博
石巻市立住吉小学校	6年生	令和6年1月26日	午前9時30分	午前10時15分	溝口貴大
石巻市立山下小学校	6年生	令和6年1月30日	午後1時40分	午後2時25分	中里律子
石巻市立北上小学校	6年生	令和6年2月2日	午後1時40分	午後2時25分	生出竜哉
石巻市立和渕小学校	6年生	令和6年2月5日	午前9時35分	午前10時20分	澁谷和彦
石巻市立鮎川小学校	5・6年生	令和6年2月5日	午後1時30分	午後2時15分	遠藤拓也
石巻市立広渕小学校	6年生	令和6年2月6日	午後1時45分	午後2時30分	土佐貴弘
東松島市立矢本第一中学校	2年生	令和6年2月8日	午後2時30分	午後3時20分	樽林雅司
石巻市立中津山第一小学校	6年生	令和6年2月15日	午後1時45分	午後2時30分	菊地健子
石巻市立湊小学校	6年生	令和6年2月16日	午前11時25分	午後12時10分	丸山順子
石巻市立前谷地小学校	5年生	令和6年2月22日	午後1時30分	午後2時15分	菊地健子

## 学術部

学術部担当理事 志田 彰範

### ～ 石巻市医師会 学術講演会のご案内 ～

- ① 「日本薬剤師研修センター認定シール1単位」の申請中です。
- ② 単位取得希望の方はPECS発行のQRコードを忘れずにお持ちください。QRコードを当日お持ちいただけない方は単位取得できません。また、遅刻・途中退出された方も単位取得は出来ませんのでご了承ください。

日 時 : 令和6年2月21日(水) 18:50～20:35

場 所 : 石巻グランドホテルおよびWEB聴講

1 情報提供 18:50~19:00

「タリージュ OD 錠について」 第一三共株式会社

2 特別講演Ⅰ 19:00~19:45

座長 横山歯科医院 院長 横山 大助 先生

演題 『薬剤関連顎骨壊死(MRONJ)の最新知見』

～ポジションペーパー2023の概要と医歯薬連携について～

講師 石巻赤十字病院 歯科口腔外科 部長 樋口 景介 先生

3 特別講演Ⅱ 19:45~20:35

座長 池田整形外科医院 院長 池田 理一郎 先生

演題 『行動経済学から服薬アドヒアランス向上を考える』

～骨粗鬆症治療薬、神経障害性疼痛治療薬が続かない理由～

講師 仙台ペインクリニック石巻分院 院長 川井 康嗣 先生

## ～ 石巻薬剤師会 学術講演会のご案内 ～

③ 「日本薬剤師研修センター認定シール1単位」の申請中です。

④ 単位取得希望の方は PECS 発行の QR コードを忘れずにお持ちください。QR コードを当日お持ちいただけない方は単位取得できません。また、遅刻・途中退出された方も単位取得は出来ませんのでご了承ください。

⑤ 非会員の方は、参加費として 1,000 円を頂戴致します。石巻会員・病薬会員・学生は参加費無料です。

日時：令和6年2月29日(木) 19:00~20:30

場所：マルホンまきあーとテラス 2F 大研修室

司会：石巻薬剤師会 学術部 志田 彰範 先生

開会挨拶：石巻薬剤師会 会長 澁谷 和彦 先生

【講演Ⅰ】19:00~19:30

『保険調剤薬局の薬剤師に知って欲しい肺癌治療マネジメント(仮)』

石巻赤十字病院 薬剤部 主任 川田 彰彦 先生

【講演Ⅱ】19:30~20:30

『肺がんの薬物療法』

石巻赤十字病院 呼吸器内科 部長 小林 誠一 先生

# 令和5年度石巻赤十字病院大規模災害訓練見学に参加して

たかぎ薬局清水店  
伊藤亜希子

このたびの令和6年能登半島地震により亡くなられた方々のご冥福をお祈りしご遺族の皆様  
様に謹んでお悔やみを申し上げます。また被災されたすべての皆様に心よりお見舞い申し  
上げます。

被害を受けられた皆様の安全と1日も早く平穏な生活に戻られますことを心よりお祈り申  
し上げます。

.....

令和5年11月18日土曜日、石巻赤十字病院において、大規模災害訓練が開催されました。  
今年度、石巻赤十字病院薬剤部さんより、石巻薬剤師会員に向けて、石巻赤十字病院薬剤  
部の活動を含む訓練見学をご企画いただきました。大規模訓練は例年開催されていまし  
たが、今年度はコロナ流行後初めての全部署挙げての開催とのことです。

当日は関連部署をご案内いただき、日赤薬剤部はじめトリアージエリア・本部等を見学さ  
せていただきましたのでご報告させていただきます。

## ○訓練想定概要

令和5年11月17日(金)AM8:40 M8.2、最大震度7、三陸沖震源 推定の地震発生  
甚大な被害あり、負傷者多数、ライフライン被害あり、  
院内に大きな建物被害なし、電子カルテ使用可能

## ○訓練目標・項目

- ・各部門マニュアル・アクションカードによる災害対応の検証・改定
- ・トリアージタグ・災害カルテの運用の検証・改定
- ・災害拠点病院としての機能・役割の確認、急患センターとの連携体制の確認

既設部門・災害対策本部・新設部門(トリアージ等)立ち上げ・運用・確認・評価・検証

## ○実際の流れ

- ・訓練開始放送
- ・各部署初動対応・被害状況報告・新設部門立ち上げ・傷病者受け入れ開始・訓練
- ・訓練終了放送
- ・部門別反省会・閉会式

日赤薬剤部さんは、訓練当日は訓練対応・日常業務対応と分かれおり、病棟対応などの調剤業務も並行して行っていました。

今回石巻薬剤師会から見学に参加したのは薬剤師 5 名。

訓練開始とともに、

①薬剤部での初動対応⇒②トリアージ赤エリア⇒③本部⇒④プレトリアージ・トリアージ⇒⑤トリアージ黄色・緑エリア⇒⑥薬剤部での部門反省を見学させていただきました。

### ①薬剤部での初動対応

放送開始とともに安全確認から開始、安否確認開始(当日出勤していない人も対象)

調剤室内の異常確認(水・電気・機械類・薬剤の落下など)、すぐに報告、

同時に調剤室内にてまとめ(模造紙)の作成、必要な情報収集の場となる

院内連絡法の確認、PHS 番号の共有

☆院内では災害レベルが 3 と認定・外来診療中止の決定・災害本部立ち上げ☆

薬剤部では物品確認 緊急薬品ボックスと緊急物品ボックスが別に準備してあり、物品庫より持ち出し

(定期的に薬剤に関しては期限見直しシステムあり、物品には薬袋や今日の治療薬などの書物、マニュアル等が入っている)

☆院内 市内停電あり、自家発電あり、エレベーターは使用禁止、電子カルテは使用可能・水は節水するように放送☆

☆5 階で火災発生連絡あり(⇒その後誤報と判明)☆

### ②トリアージ赤エリア

各既設部門より招集 情報収集中

医師・看護師・主事(赤エリアでは薬剤師・検査技師もここに分別される)

ベッドには各々担当制で医師看護師が配置、

検査技師が機器類を運搬

構造上、実際には救急車も直接乗りつけることが出来る

### ③災害本部

本部(総務・施設物品班)・GM・通信班・感染対策班 など設置、

各々が情報収集、

EMIS (広域災害救急医療情報システム) を用いて市内医療機関との連携を行う。

## ☆傷病者等の受け入れ開始☆

### ④プレトリアージ・トリアージ

玄関において歩行可能かどうかで瞬間的に判断(事務職)、その後医師によるトリアージ。  
赤・黄色・緑・黒と分別。搬送班あり。

### ⑤トリアージ黄色・緑エリア

医師・看護師・薬剤師・主事

両エリアに薬局設置あり。卸との連携による在庫確認までを含む。

(その後医師からの在庫の状況確認が問題点として挙げられる。)

黄色エリア⇒緊急薬中心 点滴薬・外用薬など

緑エリア⇒通常の服薬指導中心。電子カルテでの処方箋の運用。

終了後は歩いて帰宅してもらう。

## ☆訓練終了☆

### ⑥薬剤部での部門反省

各々反省点を挙げ、すぐに改善策案が出される。今後の活動に反映される。

活発な話し合いが行われる。

自分が今回の訓練を見学させていただき、一番感動したところは日赤薬剤部の皆さん一人ひとりが意識を高く持たれ、改善案や策をその場ですぐに意見として個人個人としてすぐに伝えられていたところです。それを言い出せる空気感や信頼できる環境がなければできないと感じました。

薬局薬剤師一個人として、これからどのように力になれるかは分かりませんが、このような機会を設けていただいたことで、いざという時に顔の見える関係でいるだけでも何かしらの力になれるといいなと思います。今後、薬薬連携が強化されることを願います。

来年以降も見学を催してくださるとお声がけいただいておりますので、ぜひ皆さんに体験していただきたいと考えます。

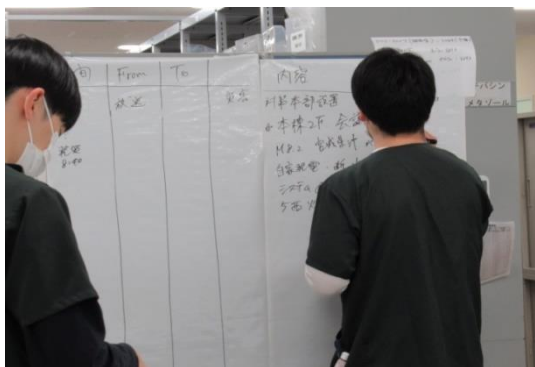
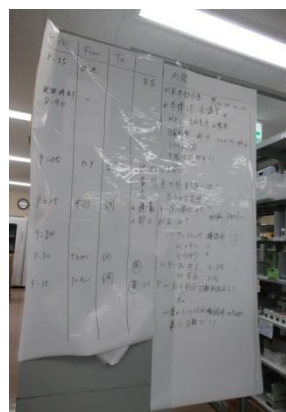
最後になりましたが、被災地支援にご尽力くださっている石巻赤十字病院の救護班の皆様、宮城県薬剤師会の皆様に敬意と感謝申し上げます。本当にありがとうございます。被災されました地域の日も早い復旧と復興を心よりお祈り申し上げます。

※この記事は抜粋のものとなります。石薬 HP で他にも写真を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

### 薬剤部に保管されている物品



### 薬剤部での初動対応





本部での様子



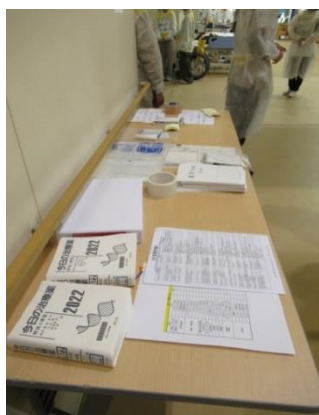
各エリアの様子 全体図



赤エリア



黄色エリア



物品庫内の緊急物品ボックス内に入っていた  
薬品リストや、今日の治療薬等資料、  
医師の処方目安となる換算表など設置





緑エリア



緑エリアでの服薬指導の様子



トリアージの様子





## 行雲流水

まさか年明け早々から大きな災害が起きてしまいました。元日に石川県能登地方を震源に発生した大地震による甚大な被害は各地に大きな爪痕を残しています。薬剤師会では初動対応として日薬からの要請に応じ、県薬のモバイルファーマシー(MFD)が石巻地区の先生を含む支援薬剤師チームと共に石川県へ派遣されています。県薬のホームページによれば1/23現在、更なる支援薬剤師の募集はもう少し後になるようです。何としても現地で支援活動に参加したいという会員諸氏もいると思いますが、今は後方支援として義援金や物資調達で応援する時期なのかもしれません。

顧みれば、東日本大震災の折には石薬会員の多くが被災者であったわけで、今回の大地震で当時の体験を思い起こした方もいると思います。(つらい記憶を思い出した方は、ゴメンナサイ)小生はテレビで活躍するDMATを見て自分が手伝っていた体育館の救護所へ来てくれた鳥取県のDMATを思い出していました。震災後一週間でまだ衛生状態の悪い時に来たせいか帯同してきた若い薬剤師(女性)が体調を崩して何も出来ずに帰って行ったのですが、十日後にそのチームが再訪した時、彼女もまた同行して来て私にこう言ったのです「先生、リベンジに来ました!」言葉通りに彼女は五日間存分に働いて帰って行きました。その姿を見て、地元の自分も『もっと頑張らなきゃ』と何だか力を貰った気がしました。自分も、同じ様な力(気持ち)を被害を受けた地域へ少しずつでも長い間届けたいと思ったこの三週間でした。最後になりましたが、

能登半島地震で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

( by じん太 )